

中学校理科教育 実技研修会 終了報告

テーマ	支笏火山の歴史と私たちの暮らし	
日時	平成27年8月6日(木)	
会場	えこりん村～苫小牧市美沢～恵庭市立恵明中学校	
講師	吉田尊智氏 (仁木町立仁木中学校 教諭)	
参加者	17名	
研修会 の 様子		<p>まずは恵庭のえこりん村で「札幌軟石」の観察を行いました。池の中にある大きなへびの像だけではなく、なんとベンチにも札幌軟石が使われているとのこと。繊維状の組織が見られるのが札幌軟石の特徴です。</p>
		<p>美沢に移動し、最初の地層の観察です。非常に大きく状態のいい露頭に驚きました。講師の吉田先生の話が大変詳しく、参加された皆さんの意欲に火が着きました。ここでは地層の土を採取しました。採取の際の注意点なども詳しく教えていただきました。</p>
		<p>地層の中からは炭化木を発見！炭化木は火砕流に取り込まれ、熱によって炭になったものです。この炭化木には年輪もはっきりと残っており、参加された方の中には炭化木をねらってじっくりと掘り出そうとする方も。この後は別の露頭を観察し、恵明中学校に戻りました。</p>
		<p>観察を終え、恵明中学校に行きました。理科室をお借りし、粒度調査です。採取してきた地層の土を大きなふるいにかけて、大きさごとの質量を計測し、結果をエクセルに入力していきます。グラフの形からは噴火口からの距離だけではなく、「飛んできたもの」「流れてきたもの」のどちらかも読み取ることができます。</p>
		<p>今回はフィールドワークで採取したものを実習にそのまま使うという、実践的な内容でした。汗だくになりながら、ときに頭から砂をかぶりながらも、充実した研修会となりました。ありがとうございました。</p>